



あきつ



第18号
令和7年10月6日
校長 田上 明男

「自分が主役」の運動会に!!

今日（6日）の学校集会で、次のような話を子どもたちにしました。

～ みなさん、こんにちは。

2学期も早いもので1ヶ月が過ぎ、10月になりました。10月といえば、大きな行事の運動会があります。校長室から運動場を見ていると、体育の時間にコースに分かれて走っている姿も見かけるようになりました。今週から練習も本格的になってくると思います。

さて、今日はその運動会のお話をしたいと思います。その前に思い出してほしいことがあります。私が4月の始業式に話した今年の秋津小学校の目標です。みなさん、覚えていますか？

「笑顔があふれ、一人一人のいのち輝く学校 ～考える つながる 挑戦する～」です。みなさんは、毎日このことを頑張って学校生活を送っていることと思います。

運動会は、その目標に向かって、一人一人が、自分でどうやったら上手くいこうかと考える場であり、仲間と協力してつながる場であり、自分の力に挑戦する場でもあるのです。練習中、うまくいかないこともあるかもしれません。思うように走れなかったり、上手く跳れなかったりすることもあるでしょう。でも、そういう時こそ大切なのは、「あきらめない心」です。失敗しても、もう一度挑戦する。その気持ちが、みなさんを大きく成長させてくれます。

そして、運動会は一人ではできません。応援してくれる友だち、支えてくれる先生方がいます。お家で励ましたり、応援してくれたりするお家の人がいます。日頃お世話になっている地域の方々も、運動会を楽しみにしてくださっています。

たくさんの人の力が集まって、運動会が成り立っています。だからこそ、多少うまくいなくても心強いのです。運動が得意な人も、そうでない人も、自分の運動会にするぞ、自分が主役なんだぞという気持ちを忘れずに、一人一人が運動会をつくっていきましょう。

そのために、みなさんにお願ひがあります。運動会までの期間、自分の目標を一つ決めてみてください。それは「最後まで走りきる」でもいいし、「声を出して応援する」でもいい。「友だちに優しく声をかける」でもかまいません。

小さな目標でも、それを達成することで、きっと自信を持てるようになります。運動会が終わったとき、「がんばってよかった!」と思えるような、そんな10月にしていきましょう。～

運動会を通して、子どもたち一人一人が成長していく姿を楽しみにしています。

校外学習を通して広がる子どもの学び

秋のさわやかな風に包まれるこの季節、各学年で修学旅行や見学旅行などの校外学習が行われています。子どもたちは、教室を離れた学びの場で、多くのことを感じ、考え学んでいます。

実際の歴史的建造物や遺構、自然、商店街などを自分の目で見て、手で触れることで、またその当時のことを知る方のお話を伺うことで、教科書等で学んだ知識が「実感を伴った理解」へと変わっていきます。目の前で体験することの力強さを、改めて感じます。

また、班での行動や宿泊を通して、仲間と協力する姿、自分の役割を果たそうと努力する姿も多く見られます。時には意見が食い違うこともありますが、その一つひとつの経験が「人と共に生きる力」を育みます。校外学習は、まさに人を成長させる場、「生きる力」を育む貴重な学びの場、といえるでしょう。

帰校した子どもたちの表情には、充実感と自信があふれています。こうした経験を通して、子どもたちが自分の成長を感じ、これからの学校生活にいっそう意欲を持って取り組んでくれることを願っています。



修学旅行の様子